

個人質問

議会事務局 処 理 欄	令和5年8月18日 11時26分 受付
質 問 順 位	第 1 2 番

武豊町議会議長 青木 信哉 殿

武豊町議会議員 とば ひさし

一般質問の通告について

令和5年第3回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 夏休み中の 児童クラブ の弁当問題 について	【趣旨説明】 武豊町では夏休み中に児童クラブを行っており、親にとっても便利な制度となっています。しかし、夏休み中は給食が提供されず、弁当を持参することになっています。 夏休み中は児童クラブへの送迎に加え、弁当を作る作業が「学童弁当」とも言われるほど、親の大きな負担となっています。また、夏場の弁当は食中毒の危険性も高くなってしまいます。 そこで、武豊町における夏休み中の児童クラブの弁当問題を解決するために、以下の質問を行います。 【質問事項】 ① 夏休みの児童クラブ、給食センターの給食を提供することはできないか？ ② 保育園の給食調理を利用して、給食を提供することはできないか？ ③ 給食提供することができない場合、弁当を希望する児童に対して、武豊町の弁当事業者や飲食店から弁当を提供することはできないか？飲食店の経済支援対策にもつながります。 ④ 弁当制度を導入する場合、給食費と近い250円程度が理想ですが、最大でも500円程度で導入できないか？ ⑤ 弁当制度を導入する場合において、事業者の弁当代のコストが高くなってしまう場合、夏休み中でも稼働している保育園の給食と共同仕入れを行うことで、仕入れコストを安くするといった工夫は可能か？ ⑥ 学校の調理室を利用して、昼食を共同で作る日を設けることは可能か？衣浦小学校であれば、近場のスーパーに買い出しを班で行うことも可能です。調理実習や食育にもつながります。 ⑦ 子ども食堂を利用、もしくは、出張してもらう形で、昼食を無料で食べられる日を積極的に設けることは可能か？ ⑧ 上記のいずれかの昼食制度を導入できる場合、夏休みだけでなく、春休みや冬休みにも導入できないか？

2. 愛知県立武豊高等学校に給食導入ができないか	【趣旨説明】 愛知県教育委員会は、2025 年度から中高一貫となる県立高校 4 校で、給食を試験導入する方針を示しています。試験導入で好評だった場合、他の全日制の県立高校にも導入する予定です。 現在、夜間学校では給食制度は導入されていますが、全日制の高校には給食がなく、共働きの親が弁当を作るのは大きな負担となっています。 また、弁当を作らない場合、お昼ごはんの購入費用は経済的な負担となっており、毎回購入する手間も発生しています。 さらに、武豊町では給食センターの建て替えを検討しており、今後の給食供給数を考える重要なタイミングとなっております。建て替えが完了したあとに、武豊高校の給食導入が決まった場合、給食を提供できないリスクがあるからです。 子どもを武豊高校に通わせる親の負担を減らし、武豊高校の魅力を高めることで、武豊町の高等学校を維持するためにも、以下の質問を行います。 【質問事項】 ① 2025 年度からの試験導入に合わせて、県の導入を見越す形で武豊高校でも給食試験導入ができないか？ ② 試験導入が 1 年間であれば対応不要ですが、3～6 ヶ月程度の試験導入となる場合、試験導入のタイミングを 4 月ではなく 9 月にできないか？ 2 学期になることで、 └ 親が弁当を作る現実的負担 └ お昼ごはんを購入する場合の経済的負担 └ 子どもが自分でお昼ごはんを買うことが大変になってくる といったタイミングになり、給食の必要性を正しく判断しやすくなるからです。 ③ 武豊高校に給食を導入する場合、県からの補助金で武豊町の給食センター運営の財政が赤字にならないようにできるか？
---------------------------------	---

3. 公園の草刈り問題を解決する年間委託と活動支援策について	【趣旨説明】 武豊町には町管理の公園が 83 カ所（墓園含む）あり、マンパワー不足もあり町で公園の草の状況をすべて把握することは難しく、草が伸びたというクレームが来てから、草刈りをする現状となっています。草が伸びている公園では、子どもたちが遊びたいと思わなくなってしまう。 また、草刈りを依頼しているシルバー人材センターは、夏場になるとシルバーさんの健康への配慮、民間からの草刈り依頼を優先しなければならないため、夏場は専門業者を利用することになっています。しかし、専門業者を利用すると、夏場の草刈り費用はどうしても高くなってしまいます。令和 5 年度の樹木管理委託料の予算は、3,500 万円です（樹木剪定費用も含む）。 周辺住民がボランティア、アダプトプログラムを活用して、公園の草刈りをしていておりますが、次の世代に継続させるのは厳しい状況となっています。以下のような問題があるからです。 ・ 農家以外だと草刈り機を所有していない ・ 草刈り機の購入費用、刃、電気、ガソリンなどのランニングコスト、故障時の買い替えコストなどが発生する ・ 国民負担率が 50%程度と昔より高くなり、共働き世帯が増えており、無償で草刈りをする経済的・時間的余裕が正直ない そこで、愛知県が実施する「マイタウン・マイロード事業」をベースに、「武豊町の公園草刈り隊事業」を行い、公園の草刈りの年間管理委託することで、草刈りのクレームをなくし、公園の維持管理を継続させることが今後重要となります。 例えば、「マイタウン・マイロード事業」の活動費は平米単価 50 円となっており、アサリ池公園、熊野池公園、別曾池公園、鹿狩池公園、武豊中央公園、やすらぎの森墓園、自然公園といった草刈り不要の面積が多い公園、及び、ポケットパークを除外して計算してみると、「50 円×約 68,640 平米＝約 340 万円」で 69 カ所の公園の草刈りができます。 上記を踏まえたうえで、武豊町のアダプトプログラムを進化させた公園の草刈り支援をするために、以下の質問をいたします。 【質問事項】 ① 現在の公園の草刈り体制はどうなっているか？ ② シルバー人材センターに依頼している草刈り費用、夏場に専門業者に依頼する草刈り費用はいくらか？ ③ 公園の草刈りの年間平均回数は？ ④ 「武豊町の公園草刈り隊事業」を、活動実績のある団体を中心に試験導入することはできないか？
---------------------------------------	---

4. 自治体 DX 推進計画の方針と開発体制について	【趣旨説明】 武豊町が行政手続きのオンライン化を提供し、武豊町のシステム費用を適切な金額に抑えるためには、自治体 DX 推進計画を進めることが重要です。しかし、自治体 DX 推進計画で対応すべき項目も多く、非常に複雑な対応内容となっており、武豊町単独で対応するのには限界があります。 一方、情報システムの標準化対応の目標時期が 2025 年度となっており、今後の DX 対応の方針も決めなければいけないタイミングです。上記を踏まえて、武豊町の DX 対応状況や DX 方針を明確にするため、以下の質問をいたします。 【質問事項】 ① CIO、CIO 補佐官といった自治体 DX の組織体制はどうなっているか？ ② 外部人材の採用はしているのか？採用している場合、外部人材スキル標準におけるプロデューサー、プロジェクトマネージャーといったどの役割で採用したか？ ③ 国は DX 計画内で、都道府県による市区町村支援、デジタル人材のシェアリングを推奨しています。愛知県や知多半島エリアで、広域開発やデジタル人材のシェアリングを検討する流れはあるのでしょうか？ ④ DX を推進する中で、オンライン申請や窓口におけるキャッシュレス決済、電子マネー対応といった DX 対応は進められると考えますが、これらの DX 対応を今後検討する流れはあるのでしょうか？ ⑤ 自治体の情報システムの標準化・ガバメントクラウド、行政手続きのオンライン化の進捗状況はどうなっていますか？
-----------------------------------	--